

「誘導案内表示に関するワーキンググループ」の設置について

1. 趣旨

鉄道駅等における視覚障害者等に対する誘導案内表示については、有識者、障害者団体、公共交通事業者等に参画いただいた上で、平成 28 年度から平成 29 年度にかけて開催した「移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準等検討委員会」において検討を行ったところであるが、誘導案内表示における適切な書体やサインの大きさ、床サインの用途と表示方法、旅客施設の出入口から先の連続的な誘導案内表示方法等について、今後の検討課題とされた。

そのため、令和 5 年度に移動等円滑化評価会議において「当事者目線に立ったバリアフリー環境の課題等に関する最終とりまとめ」をとりまとめ、その中で速やかに取り組む課題の一つとして、案内設備（①バリアフリールートの把握のしやすさ、②経路誘導に関するサインシステム等、③音声案内等のわかりやすさ）が挙げられ、「公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会」（以下「基準等検討会」）等において、具体的な検討に着手することとなっていることから、基準等検討会の下に「誘導案内表示検討ワーキンググループ」を設置し、検討を行うこととする。

2. WGについて

（1）検討の進め方

案内設備に関する検討事項のうち、令和 6 年度中に①（バリアフリールートの把握のしやすさ）及び②（経路誘導に関するサインシステム等）について誘導案内表示検討WGを設置し、令和 7 年度以降、順次開催・検討等を行い、ガイドラインの改訂を行う。

なお、③（音声案内等のわかりやすさ）については、令和 7 年度に実態調査（ヒアリング等）を実施したうえで、令和 8 年度に音声案内等検討WGを設置し、以降、順次開催・検討等を行い、ガイドラインの改訂を行う。

（2）検討スケジュール

令和 7 年	6 月頃	第 1 回誘導案内表示検討WG（①②関係）開催予定
	7 月以降	事業者実態調査及び障害当事者ヒアリング調査等実施
		① バリアフリールートの把握のしやすさ
		② 経路誘導に関するサインシステム等
		③ 音声案内等のわかりやすさ
	11 月頃	第 2 回誘導案内表示検討WG（①②関係）開催予定
令和 8 年	2 月頃	第 3 回誘導案内表示検討WG（①②関係）開催予定
	4 月以降	音声案内等検討WG設置・開催予定（複数回開催予定）
～令和 9 年	3 月頃	検討事項①～③について検討後、基準等検討会において了承が得られた事項から、順次、ガイドラインを改訂予定

3. 構成員等

WGは、学識経験者、障害当事者であって誘導案内表示に精通されている方、公共交通事業者、行政機関の実務者により構成する。構成員名簿（案）は、別添のとおり。

事務局：国土交通省総合政策局バリアフリー政策課、当省委託事業者

令和7年3月21日

(別添)

誘導案内表示に関するワーキンググループ

構成員名簿（案）

(敬称略・順不同)

松田 雄二	東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 准教授
吉田 樹	福島大学 教育研究院 准教授（経済経営学類担当） 前橋工科大学 学術研究院 特任准教授（クロスアポイントメント）
丹羽 太一	東京大学大学院 経済学研究科 特任研究員
澤田 大輔	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部 次長

障害当事者（聴覚障害者、ロービジョン（弱視）、車椅子使用者を想定）

公共交通事業者（鉄道・空港等）

国土交通省総合政策局及び関係部局等

公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会

【目的】

公共交通事業者がバリアフリー法に基づき遵守すべき基準や整備の指針となるガイドラインについて、社会情勢の変化や技術向上等を踏まえつつ、障害当事者等関係者のニーズ等に即した内容とするための検討・審議を行うもの。(必要の都度開催)

【体制】

学識経験者、障害者団体、公共交通事業者等(座長：秋山哲男(中央大学研究開発機構 教授))
国土交通省(総合政策局、鉄道局、物流・自動車局、海事局、港湾局、航空局等)

ウェブサイト等における情報提供に関するWG

座長：秋山先生

【目的】

現行のガイドラインでは、ウェブアクセシビリティ確保のための具体的手段に関する記載がなく、また、JIS X 8341-3:2016 に基づいてウェブアクセシビリティを確保したとしても、障害当事者が使いやすいものであるとは限らないことから、公共交通事業者のウェブサイトにおける情報提供のあり方について検討等を行い、ガイドラインの内容充実化等の見直しを行う。

【対応の方向性】

・障害当事者が事前に確認したい情報
ホームページ等で提供してほしい情報の収集
・JISの各項目についてクリア出来ている事例、事業者から寄せられた課題への解決事例の収集 等

誘導案内表示検討WG(仮称)

【目的】

情報量の多さや複雑さにより必要な情報が得にくい状況等を踏まえ、構内案内図でのバリアフリールートの把握のしやすさ、誘導サイン等について、わかりやすさの観点で検討等を行い、ガイドラインの記載内容の見直しを行う。

【対応の方向性(案)】

・過去の検討結果を踏まえた好事例の整理
・障害特性に応じた真に必要な情報の整理
・ICTや人的サポートでの代替措置の検討 等

令和6年度末：「誘導案内表示検討WG(仮称)」設置予定

令和7年度：誘導案内表示検討WG開催予定(複数回開催)

音声案内等検討WG(仮称)

【目的】

情報量の多さや複雑さにより必要な情報が得にくい状況等を踏まえ、音声案内等についてわかりやすさの観点で検討等を行い、ガイドラインの記載内容の見直しを行う。

【対応の方向性(案)】

・過去の検討結果を踏まえた好事例の整理
・障害特性に応じた真に必要な情報の整理
・ICTや人的サポートでの代替措置の検討 等

令和7年度：音声案内等のわかりやすさに関する実態調査実施

令和8年度：「音声案内等検討WG(仮称)」設置・開催予定(複数回開催)